

「大切なこと」 ～あなたは忘れていませんか？～

Iサム26:22～25、詩127

エジプトのムバラク元大統領を知っていますか？テレビでは約100万人の人たちがデモを起こしているのが放送されましたが、ムバラク元大統領は悪い人ですか？それとも、デモを起こした国民が悪いのですか？ムバラク元大統領とはどんな人が知っていますか？私たちが耳にする情報は偏っています。ムバラク元大統領がなぜこのような状況にあるのか報道しません。ただ、この人の資産がいくらあるかなど表向きな事しか知らせません。私たちの目線も、いつもそういうところにあります。目から入る情報ばかりに気をとられ、「自分には関係ない」「まさか自分の身には起こらない」と、無関心です。しかし明日は我が身です。「自分だけが豊かになりたい」「自分だけが幸せになりたい」と思っている人たちの中で生きています。エジプト政府も同様です。最初はこの国を良くしようという思いから大統領になりました。しかし欲が出てしまったのです。私たちはどうでしょう？「私は、こういう理想をもっている」という思いがあるでしょう。しかし、その大事なことをすっかり忘れて富・名声・手柄をあげること・人から褒められること…そういう方向に価値観がズレてしまっています。だから、いざ、「大切なものは何ですか？」ときかれても言えません。自分が本来しようとしたことを忘れてしまっているのです。長い間生きていればいほど、クリスチャン生活が長ければ長いほど…。私たちは自分にとって大事なものが何か知っていますか？「これだけは失えない」と言うものは何ですか？あなたの生きる目的は何ですか？きちんと答えられますか？そしてそれが自分の欲になっていないでしょうか？大概の人は「家族」とか言いますが、では私たちは家族のために生きていますか？違いますね。本当に自分が大切に思っているものが何なのかを追求しないで、ひとまず目に見えるものの中から大切に思えるものを造りあげるのが人間です。本当に大切なことを忘れてしまうと、何をしても目先のことにしかなりません。忘れると言うことは心を亡くしているのです。人から言われたことやられたことは絶対に忘れません。しかし赦す事はしません。ところが、私たちにとって大切なことは全部忘れてしまいます。そして忘れたことを責められると逆ギレしてしまいます。こんな責め合い・あら探しの中で誰が幸せになれるでしょう？飛行機は目的地があるから離陸できます。私たちの人生には目的地がありますか？目的地がないのに離陸すると墜落してしまいます。私たちの人生も、目的地が分かっていたら遠回りしても生きる道を考えながら進むことができます。私たちは、その時にしなければならぬことを知りながら、忘れたふりをしてどうでもいいことをしてしまいます。「幻がなければ、民はほしいままにふるまう(箴29:18)」とあります。しかしダビデ(=神に愛されたもの)は、違いました。(Iサム26:22～25)私たちは、その時の状況に追いやられて感情的に行動してしまいます。大切なことを忘れて、そうでないことを思い出します。サウルもそうでした。ダビデがサウルに対して悪い事をしたことは一度もありません。しかし、サウルが嫉妬していたのです。すると周りの人が吹聴します。サウルはその吹聴に目を向けダビデに怒りを向けたのです。私たちの怒りも同様です。本来、そのことを怒っていません。しかし、そうじゃない色々な状況を思い出して悪かった状況を造りあげて自分でそれに目を向けているのです。本当は何が大切なのか・すべき事も知っています。しかし、本来忘れるべき・処理すべき憎しみやくだらない思いがそのままなので、それができません。聖書には「日が暮れるまで怒ったままでいてはいけません。」(エペ4:26)とあります。悪魔に機会を与えてはいけません。このくだらない記憶は大切なことを腐食します。一番大切にすべきことを見失うと本来私たちが得られていた全ての大切なものを失います。「もの」は結果です。大切なことを見失わずに追求したから大切な「もの」が得られるのです。私たちがすべき大切なこと・どこに目的地をおいていてそこに向かう理由が何なのか・その目的地は何のためなのか…これを見失わないことが大切です。そしてこれらのことは、リスクを負いながらも自分で見つけ出さなくてははいけません。そして、見つけ出すために大事なことは道を外しているか気付くことです。外れすぎると戻るのが大変です。だから週に1回(安息日)自分の歩んだ道を整理しましょう。私たちは、見失うべきものは見失って、見失ってはいけないものは見失わないようにしましょう。私たちの過去の記憶の中で、見失ってはいけないものはほんのわずかです。それ以外のものはイエスさまの十字架によって全て処理すべきです。大切なものを失わないために①大切なことに目を向ける。ちゃんと目を向けてください。探し求めてください。何を見失ったのか・すべきことの何ができなかったのか…目を向けてよく考えなければなりません。私たちにとって大切なことをちゃんと見ていれば、全てのことがそこから始まるので全てがうまくいくのです。(詩118:19～26)今、私たちが行っていることです。でもこれは周囲の人から見ればバカみたいな事です。人々が捨てた石…でもそれが礎になります。それに大切なことがいっぱいあります。だから、本当に大切なものを見失わないようにしなければいけません。些細なことを止めないようにしなければいけません。世の中では愛とか赦すなどと言うことは絵空事です。でもこれが大切なことで礎になるのです。イエスさまが十字架で行ったのは愛です。ただ愛していたから私たちの代わりになってくださったのです。神さまを愛するものにはすべての必要が与えられ、野の花でさえ命が続くようにしていただきます。私たちは大切なことさえ見失わなければ大切なものを失いません。(マタ6:29～34)②大切なことを行う・それを忘れるな。(詩103:1・2)大切なことは誰でも分かっています。だから目を向けるだけでは一緒です。実行しなければ意味がありません。いっぱいできなくてもかまいません。少しずついいのです。それが振り返ってみるとたくさんものを残しています。家を建てるのと同じです。(詩127)「主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなし。」とあります。家を建てている人には何をやっているのか、その時々には分かりません。みんな違う行動をしてそれぞれの工程では何をやっているのかさっぱり分かりません。これが形になるのかな？と思いますがいつの間にか建ちあがっています。私たちは、今までの人生で何か建てあげましたか？少しずつ、自分の目的を果たしていれば必ず自分を通して成されようとしていることが成されます。③主とともに目的を果たす。家を建てている人が分からない建て方をするのは止めましょう。施主さんが誰なのか分からない生き方は止めましょう。家を頑張って建て増した。でも誰も住みません…ではいけません。あなたが建てようと思っているものは施主さんの言われるとおりになっていますか？主とともに目的を果たしてください。私たちが何のために生まれ、何のために存在しているのかをもう一度考えてください。だからその人=施主さん=神さま(主)が私たちに目的を果たせと言われるならその目的にたって生きるべきです。私たちにこの目的をともに果たしてくれる方はいますか？一人ではできません。自分の髪の毛の本数も分からなければ血液をつくることもできません。そんな人間が一人で目的を果たすことはできません。自分は誰によって創られ誰によって生きるのか…これが分かれば強いです。ちょっとのことで右往左往しません。周囲がどうあってもともに目的を果たす方がそばを離れないので道を外れることもありません。でも人に目が向いてしまうのは、ともに生きる人がいないから・自信を失っているから不安になってしまいます。(ヨハ15:16)あなたがたがわたしを選んだのではありません。「わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり」とあります。もはや私が生きているのではなく、キリストが私の内に生きておられるのです(ガラ2:20)。自分が生きているのではないので自分の意見を自分の意見として言わなくても済みます。何が正しいのか考えようと思えるのです。神さまは、本当に私たちのことを愛して私たちを選んでくださいました。そして私たちがすべきことは私たちにしかできません。だからこそ、私たちに任された大切なこと・使命をないがしろにしないでください。一時の恥や思い煩いや恐れで私たちの目的を捨て去って実行しないで終わってしまう人生を歩まないでください。そして今日から大切なものを探していきましょう。(要約者：行司佳世)